

「道徳で子どもの心を育てる」

李 詩愛

一・道徳授業のつくり方

子どもの道徳を語る前に、まずは我が身がどうかを問うことから道徳授業が始まる。

○ステップを身につける

【ステップ1】教師の感動を大切にす

【ステップ2】感動した素材を数多く収集する

【ステップ3】小さな道徳授業をする

【ステップ4】一時間の道徳授業をつくる

多くの人はステップ4だけをしようとす
るから難しく思う。必ず土台が必要であり、
そこから発展していくものである。

「子どもと一緒に考えたい」という感動
を大切にすることが重要。さりげないこと
を教師がどれだけキャッチして子どもに返
せているのか考えたい。

○小さな道徳授業とは

四十五分間にこだわる必要はなく、五分
から十分間の短い道徳授業をすればいい。

構成の基本は、〈教材〉と〈発問〉である。

興味をもたせる提示の工夫を行い、思考を
刺激する発問を行えば授業はできる。朝の
会や学年集会、全校朝会、行事との関連、
道徳授業との連動、複数を組み合わせ活
用することができる。

二・教科書を使った授業づくり

○教科書研究の第一歩

まずは、教師が「おもしろい」と思わな
ければ、子どもも「おもしろい」とは思わ
ない。「どこがおもしろいのか？」と疑問を
もち、一度、自分の中にある常識を捨てて
みる。すべてを「おもしろい」と感じよう
とする意識を持つことが大事である。

○教科書研究のステップ

【ステップ1】教科書を読む

単元を通して読むことが基本。学習内容の
系統性や一単位時間のポイントを読み取る。

【ステップ2】構成要素を見抜く

構成要素に分けることが基本。意味を考え、
関連づける。

三・授業づくりで教師修業

教師は授業をするためにいるけれども、
十回授業をして、三回ヒットが出れば上出
来であり、全て上手くいくことはあり得な
い。授業を上手くするためには、教科書研
究が必須となる。

○三つの視点

【学ぶ】 読書 セミナー

【実践する】 研究授業 日々の授業

【書く】 学級通信 実践記録

学ぶことで脳にインプットされる。その
インプットの量が重要となる。なぜなら、
実践というアウトプットの質を決めるのが
インプットの量によつてだからだ。全ての
ことは、アウトプットするためにインプッ
トするのである。

最後に、三つの視点の中心にあるのが、
【サークル】であると語られました。私た
ち教師は、そこで、仲間と共に日々切磋琢
磨し、成長し続けていきたいと思いました。